

和華叢書

関流

和法華術

卷十六

求積隨書

二奴  
708  
108



門 二 2  
號  
卷

關流算法草術卷之十八

求積隨毫

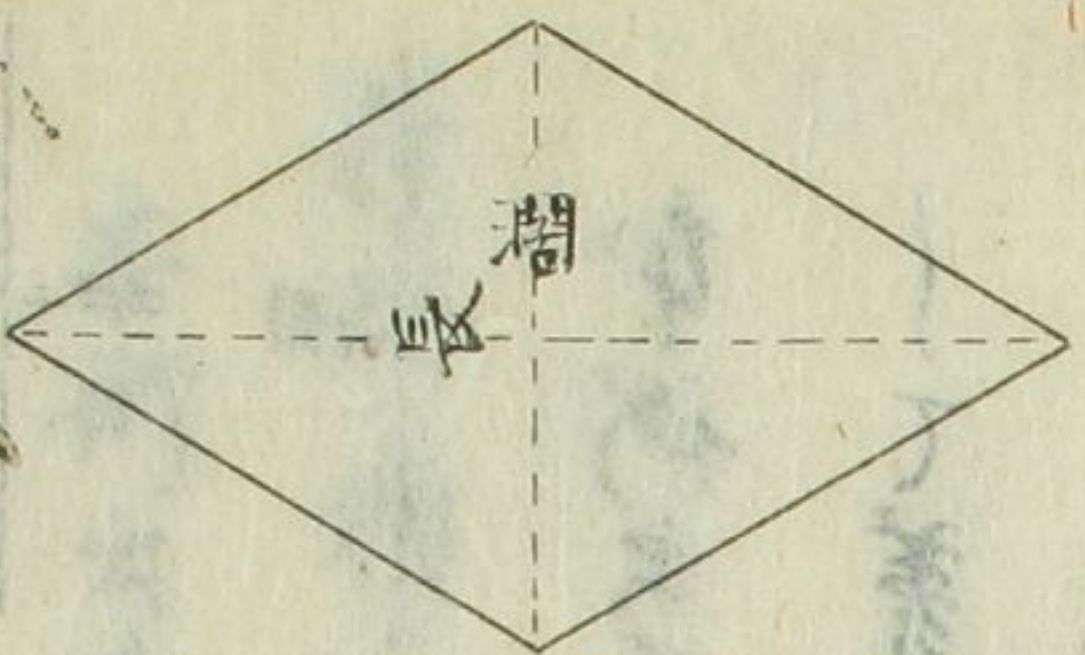
今菱形の至浦有長八間濶六  
間積何程と問

答云 式拾四坪

術云 長と至  $\frac{長}{2}$  折すして

股と至  $\frac{長}{2}$  又濶と至  $\frac{濶}{2}$  折すして

為す  $\frac{長}{2} \times \frac{長}{2} + \frac{長}{2} \times \frac{濶}{2}$  股と至して為す積式拾四坪と云



== 長間

折すして形約股積之限と併して

== 長間

此の形 宗除同

== 長間

積の 枚者消

= 長間

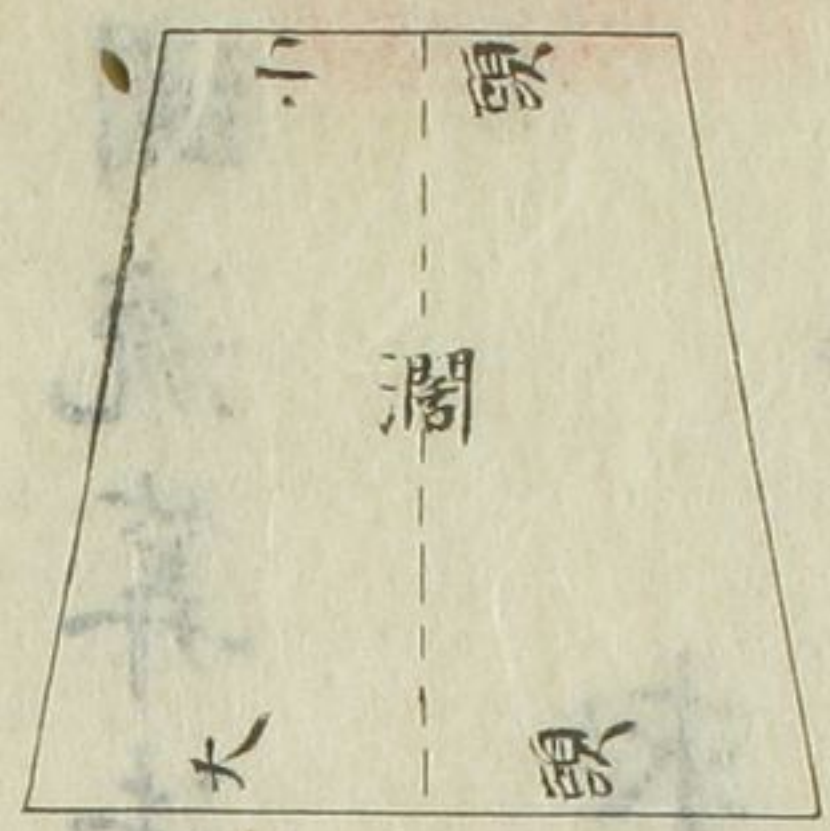
== 長間

積

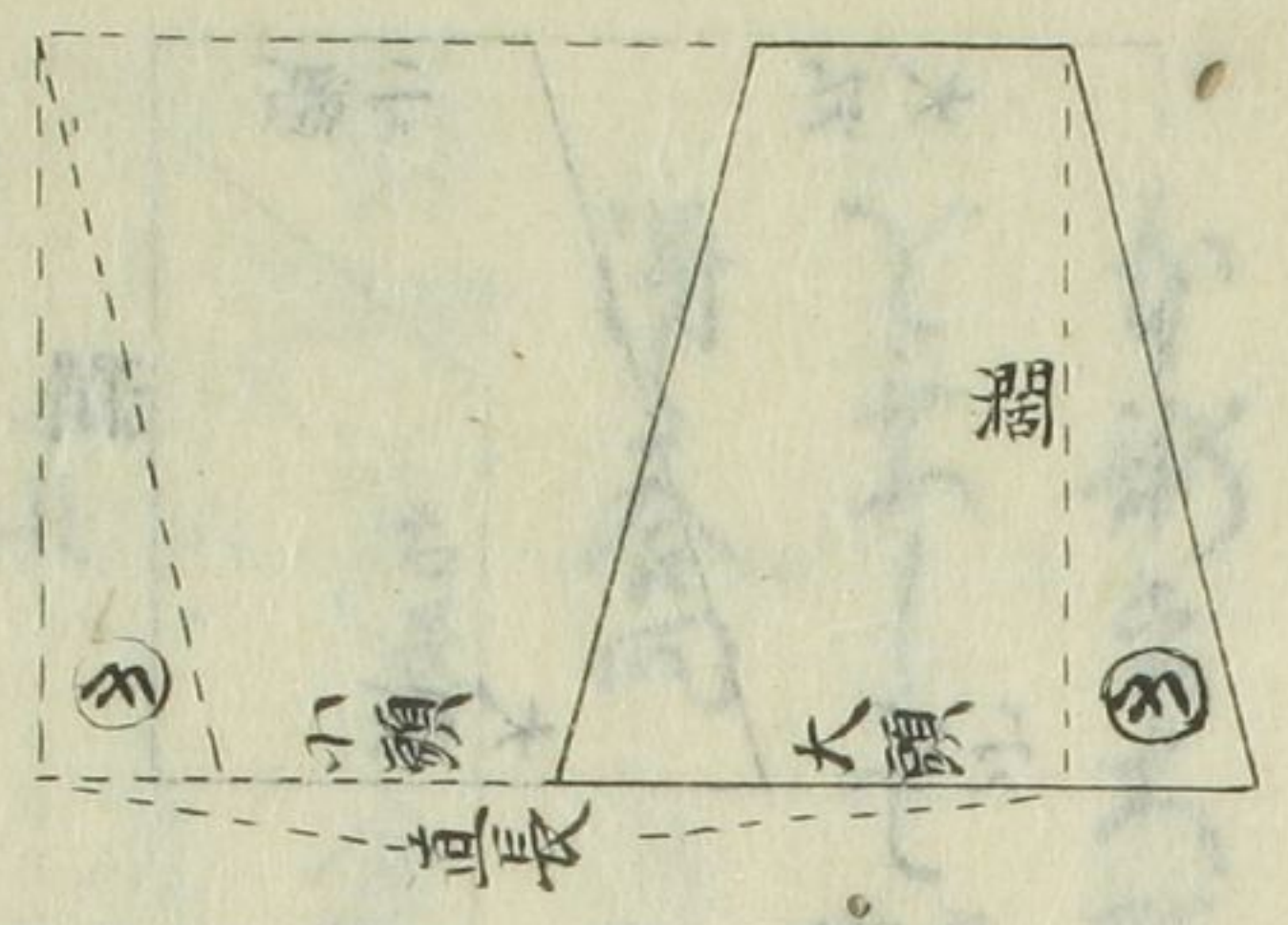
本術之長間八と主間六と宗して八と併して折す

して差積武拾  
七件と併して併合同

今梯形の左浦有小頭武間大頭  
に間濶二間積行程と向



草積算九件



梯形積

術之大改と並 大双 小改と和へ

主の長とん 大双 小双 又濶

と主事の半とん 濶

長小宗して主積とん形梯形の

積式限へ 大濶 小濶 折すして

= 大濶 = 小濶

本術之大改間八と主小改間七と加して去小間六と併して

濶二間宗して併八と併折すして梯形積七件  
九

と併して併同



今半榜形の屋浦有小頭を同大頭式同潤二間積付程と同

言ふ 此様す

桁云大既と並

大既大既と加へて並の長と

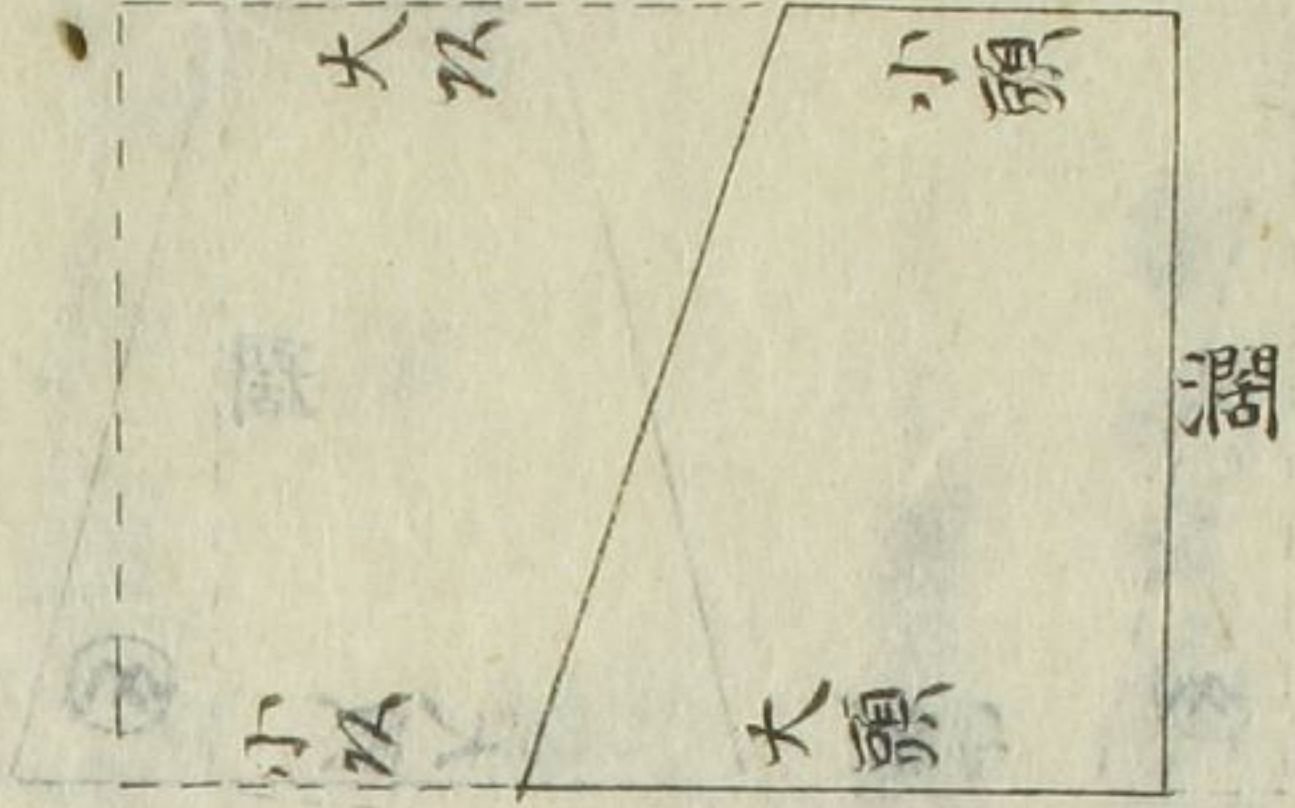
に 大既大既 — 小既小既 — 又潤と並並の

平と長 — 潤 — 此と並長小並と

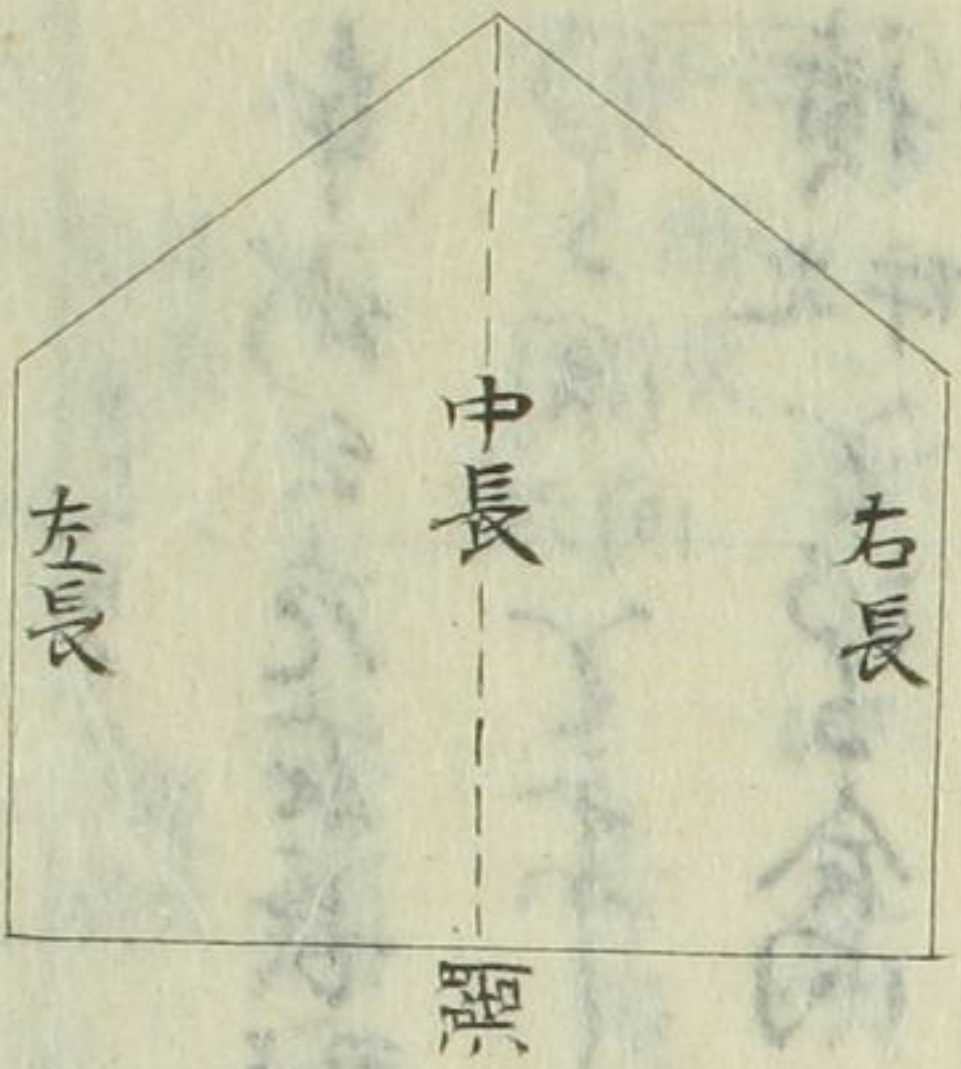
て並積とる所半榜積式既とる

半榜積とる 大既大既 — 小既小既 — 桁すして所

半榜積とる 二大既 — 二小既



半桁云大既式と並小既間と並二間と桁潤と  
と並して九と桁桁すして半榜積すに桁と  
得る合同



今紫銅形の屋浦有左長右長  
中間中長式同潤二間計積付  
程と同

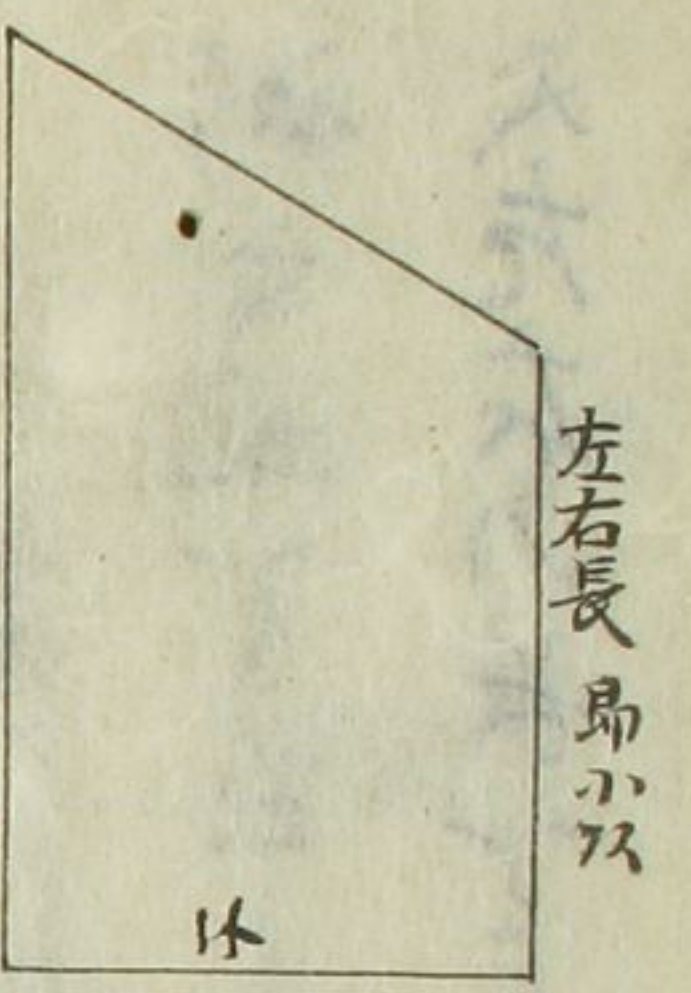
言ふ 九桁

桁云潤と並

潤 — 桁すして子とる — 潤

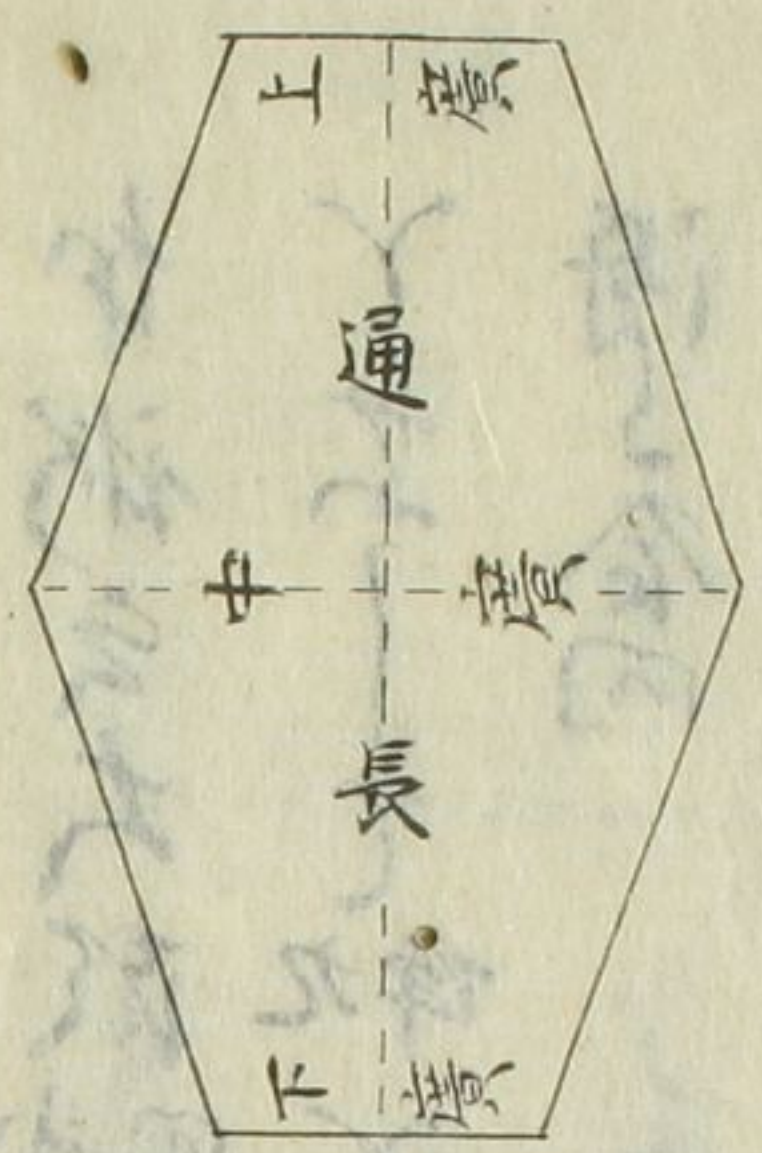
又左長の長と並

左長 — 中長と加へて並とる



左右長 中長  
 是即大頭と  
 小頭との和  
 乘して半梯積式版と  
 是即箭  
 翎の全積也  
 二 左右長 中長

本梯之左右長間と並中長式と加して  
 三小間と  
 均し間六と乘して  
 梯と均し合同  
 積九と均し合同



今鼓形の至薄有上下の廣  
 各或間中廣は間通長六間  
 積何れと均  
 但中廣は通長  
 の二中小あり

三三六 拾八件

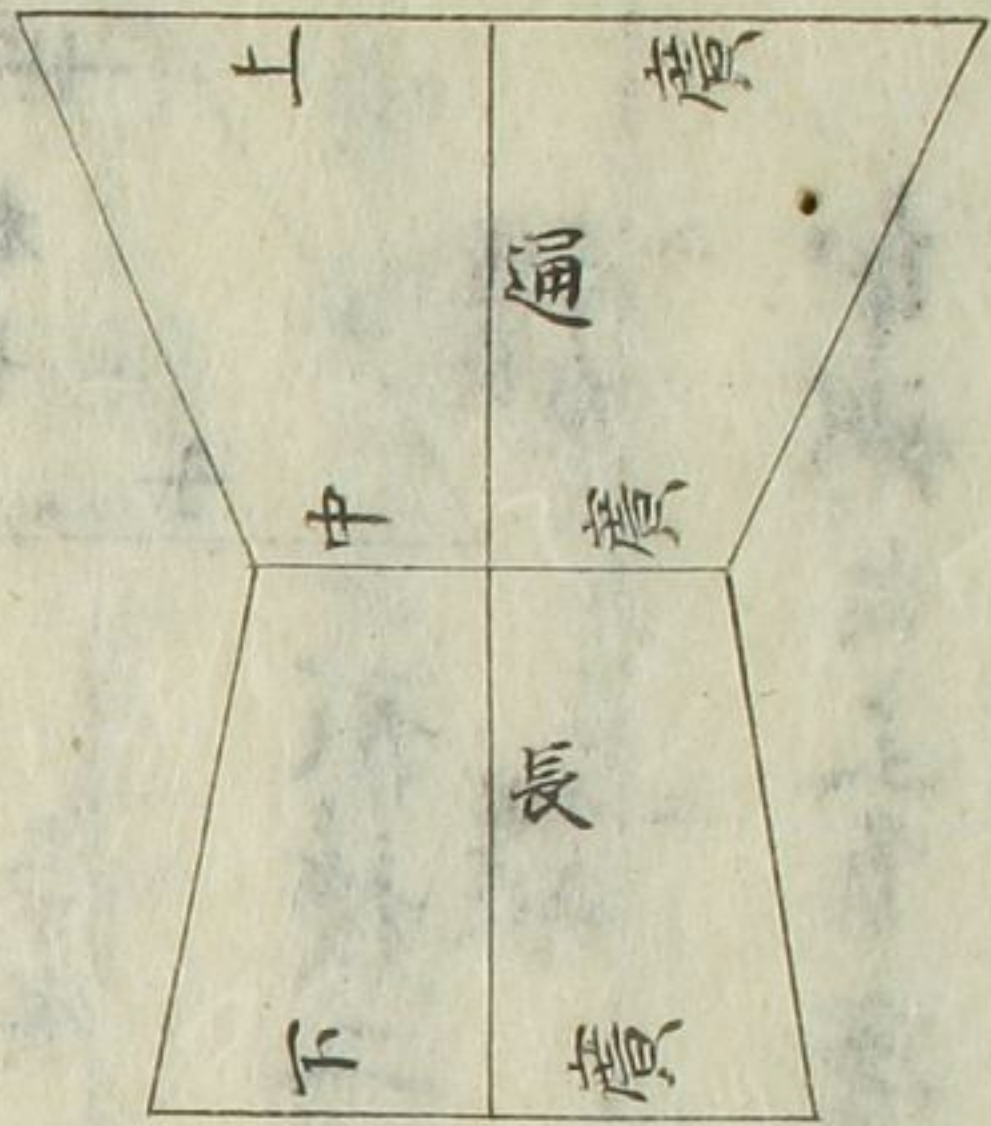
梯之通長と並  
 通長  
 折すして梯形の長と



又上下廣と並  
 上下廣 中廣  
 梯長と乘して梯  
 形積二版と  
 是即梯形の大  
 頭小頭の和なり

本梯之上下廣間と並中廣間と加して  
 五小間と  
 均し通長六と乘して  
 六件と得  
 折すして

鼓形積拾八と均合同。



今ニ廣形の至浦有上廣也  
 間中廣或間下廣ニ間通長六  
 間積竹程と向  
但中廣と通長  
 の二中小より  
 言云 拾六坪也

折云通長と並

通長

折すして上下の枡

長とん

通長

別小上廣と並

上廣

中廣

とがし

是形上の枡形の  
 大或小の和

上廣

中廣

上下の

枡長と並して上の枡形積式版と得 然

上通長

中通長

折すして上の枡形積とん

上通長

中通長

変

上廣

中通長

又下廣と並

下廣

中廣とがし

是形下の枡  
 形の大或小

の和

下廣

中廣

上下の枡長と並して

下の枡形積二版と均

下通長

中通長

折す

して下の枡形積とん

下通長

中通長

変

上の枡形積とがしと二廣合

積と均

上通長

中通長

下通長

中通長

① ② 括

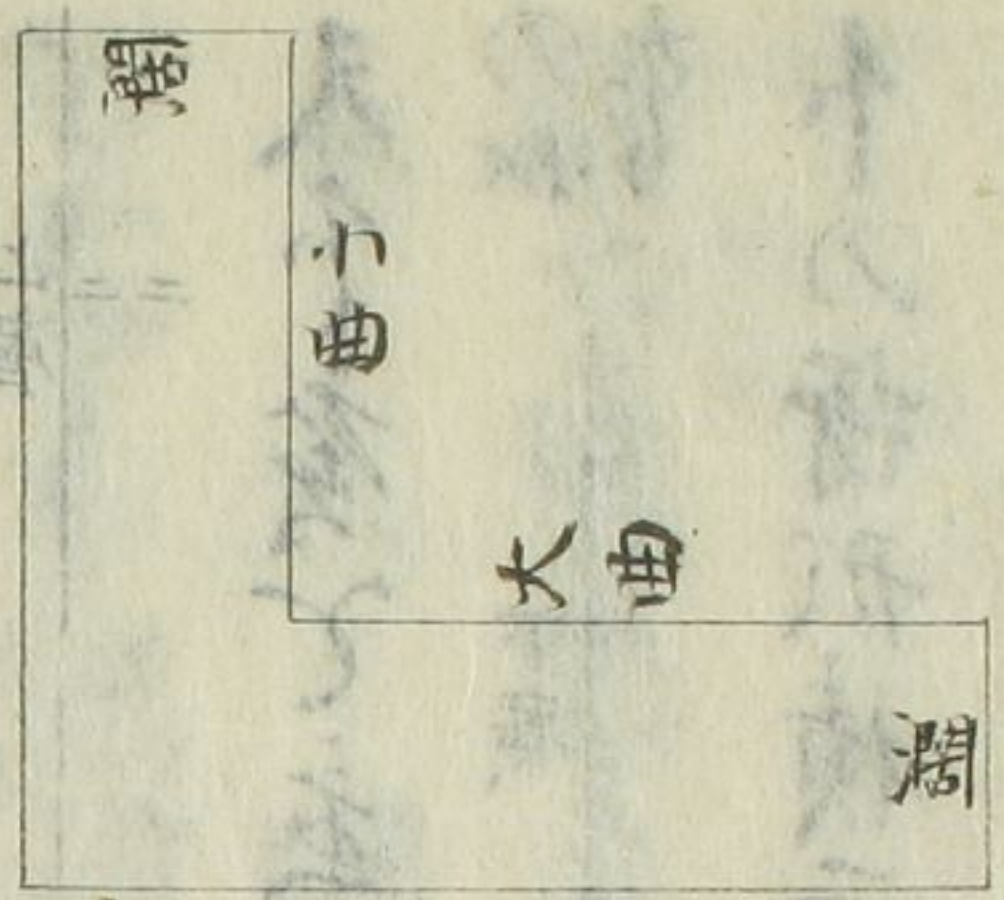
① ② 中通長

上通長

下通長

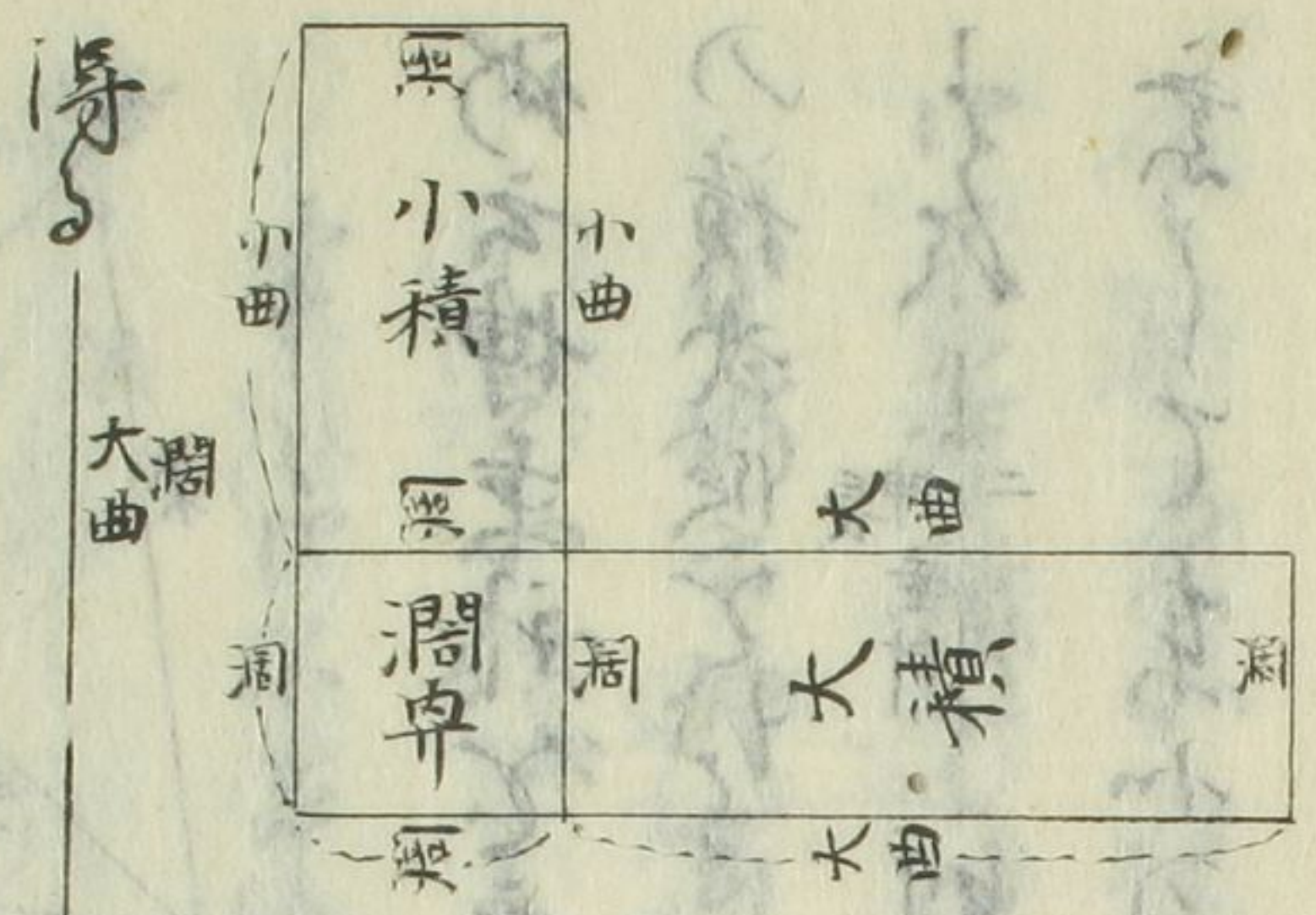
② ① 中通長

本形之中廣間と候。一にて間と候。上廣間と下  
 廣間とと加。其又間と候。通長六  
 系一と候。比除。二廣積。六  
 得ふ合同



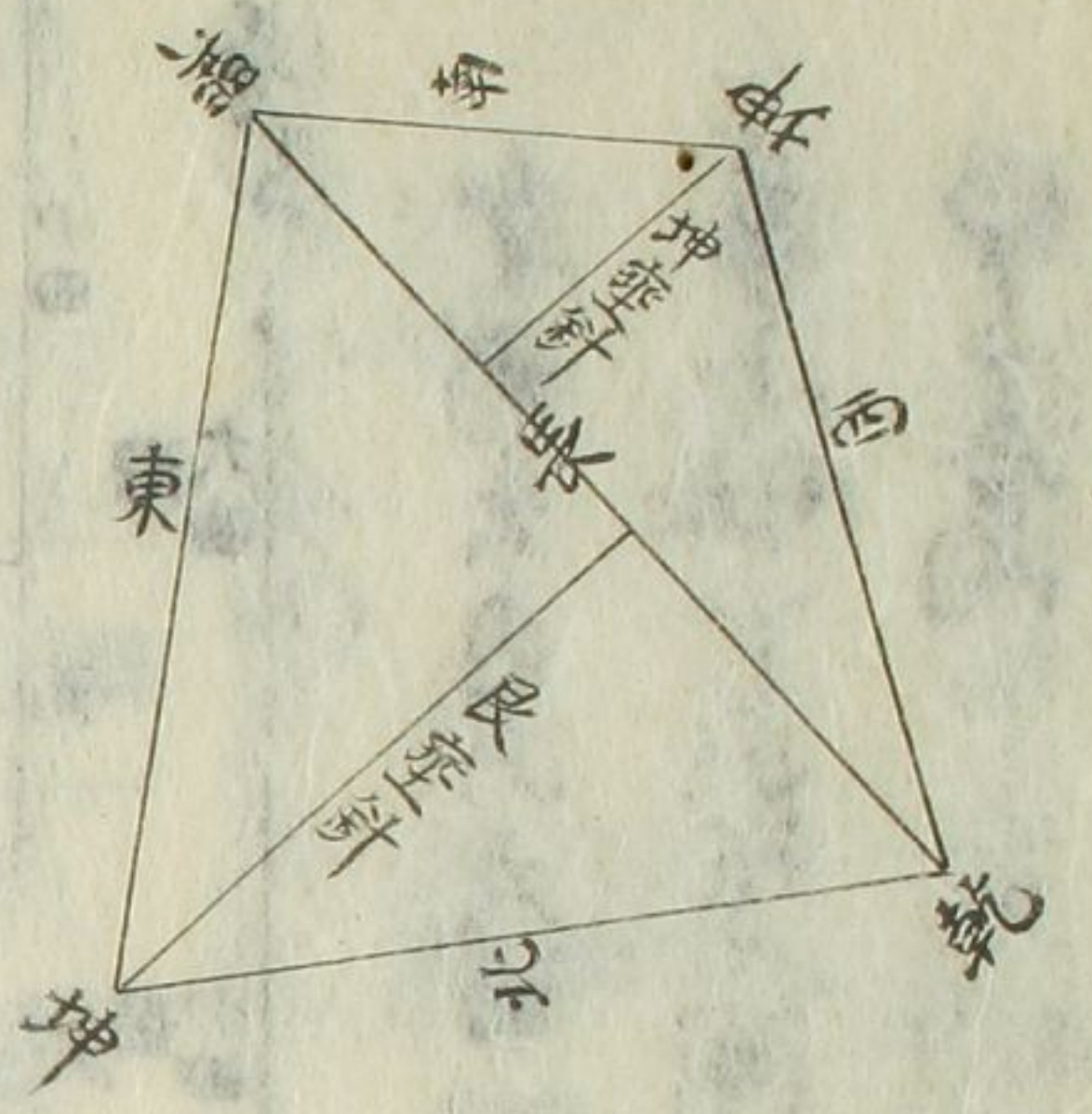
本形之大曲と並

今曲天形の至浦有内の大曲  
 入間小曲二間潤或間は積  
 何程と向  
 善云 或拾伴  
 大曲 潤と系して大積と候



別小曲と並  
 潤と系して小積と候  
 又潤と並  
 潤中  
 大積と  
 潤中  
 自系して候  
 小積と加。曲天形の積と

本形之内の大曲入間と並小曲三と潤或とと加して  
 系小間と候。潤或と系して曲天形の積。或拾  
 得ふ合同



今に不等の至浦有乾  
 其聖の長或拾之間坤密  
 計八間其聖計拾或間此  
 積何程と向

言云 或百拾俾

測云坤密計と云

坤長垂針

長と兼して西の

の積或限と云

坤長垂針

折すして西の積

と云

坤長垂針

別小長密計と云

長垂針

長と

兼して東の積二限と云

長垂針

折す

して東の積と云

長垂針

西方の積と云

に不等積と云

坤長垂針

長垂針

中測云坤密計八と云其密計拾或と加へ

て若小或拾と云長或拾と兼して拾俾と云

半に不等積或拾俾と云合同

今系有程を二周二八是廿四分

積何程と向

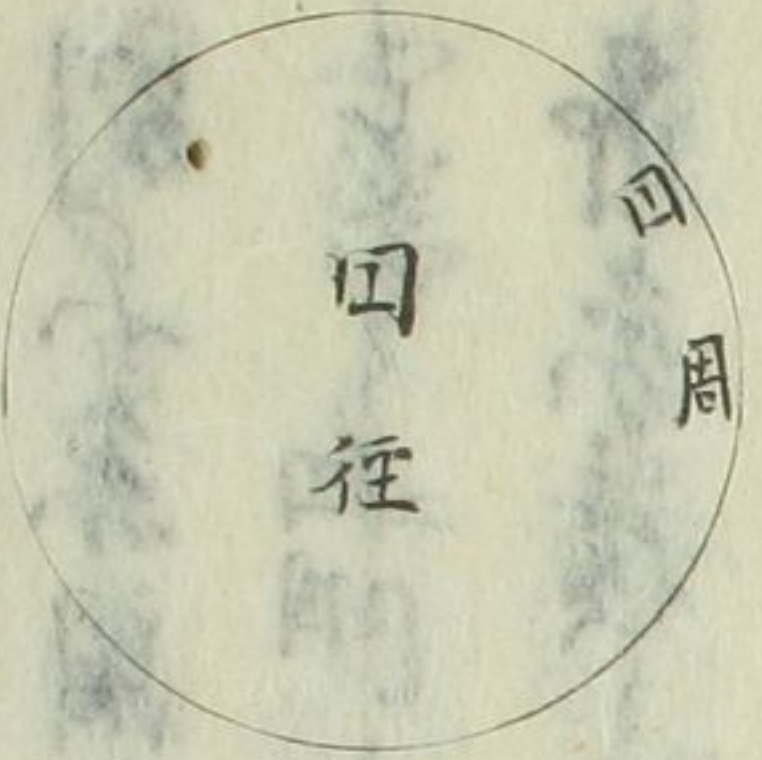
言云 七拾八寸五分

測云 解号求積

系程と云

四徑

折す





徑と云

四法

半して並平と云

四周

別小糸周と云

四周

折半して並長と

と

四周

並平と云して並積と云

即糸積と云

四周中

並

四周中

本測云糸周

拾八寸七分

と云自糸して

或百

六寸四分

と云實と云 別小糸周法

六寸四分

と云法と云以て並と除

糸積 拾九寸六分

と云高

今環形有外周を丈八寸七分内周六寸二分



寸八分積何と云

言云 拾六寸二分を八毛

測云外周と云

外周

自糸

して定法拾式を八寸二分除く外糸の積と

測云外周と云

外周中

別又内

周と云

内周

自糸して定法拾式を八寸

二分除く内糸の積と測云外周積と云

内周中

測云外周と云 測云外周と云 測云外周と云

外周中

内周中

十二寸五分

十二寸五分

十二寸五分

中術之外周 寸六八 と直自糸して 式百七拾六

と均す糸位 尺七寸 別小内周 六尺五寸 と糸自糸

して 二拾九尺五分 と均す糸位と減し

て解 式百七尺五分 と実と尺定法 拾式寸 小除し

環形積 拾六尺五分 と均す糸位

又環有外徑入尺内徑式尺積何程と問 他糸積 法七寸

八寸六毛 と用し

算云 拾六尺五分八毛 外至 自糸して糸積法と

術之外徑と直 外至

糸して糸糸の積と均す所産實其の積なり

四責法 外至 別小内徑と直 内至 自糸して糸

積法と糸して内糸積と均す所産積と均

四責法 内至 以て産積尤の積と減して解環形

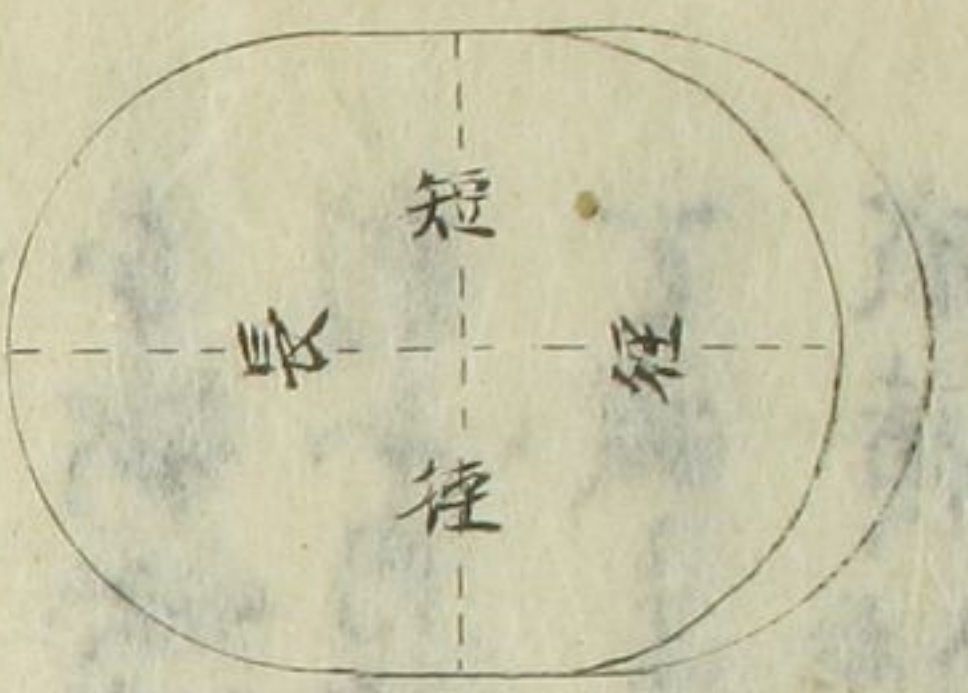
積と均す 四責法 外至 四責法 内至

中術之外徑式尺と直自糸して 式拾 と均す糸位

別小内徑式尺と直自糸して 尺 と均す糸位

と減して解 式拾 小糸積法 七寸 と糸して環

形積 拾六尺五分 と均す高



今半徑系有長徑之六寸短徑  
八寸積何種と問

答云 式百六拾七寸六分六厘  
六毫六絲六忽

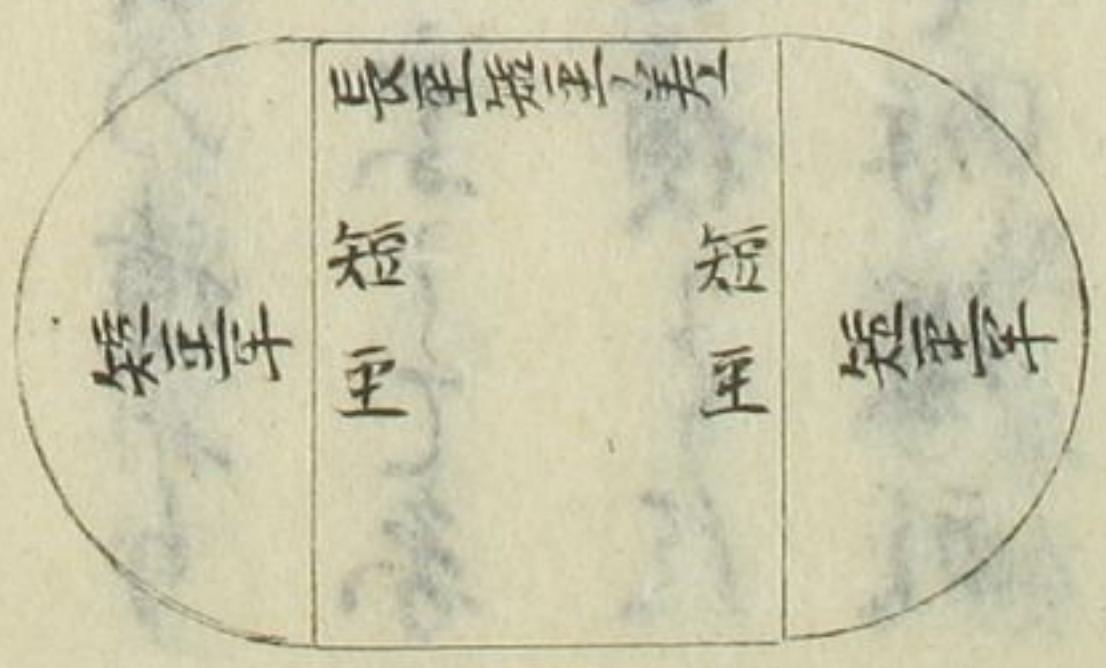
術云短徑と並 短徑 再自乘して立系積

法と系して之系積と為即九九

寸之系積相係るものなり 立田書法 短徑

少位 別小長徑と並 長徑 内

短徑と減して餘中の系積のちとに



長徑 別小短徑と並

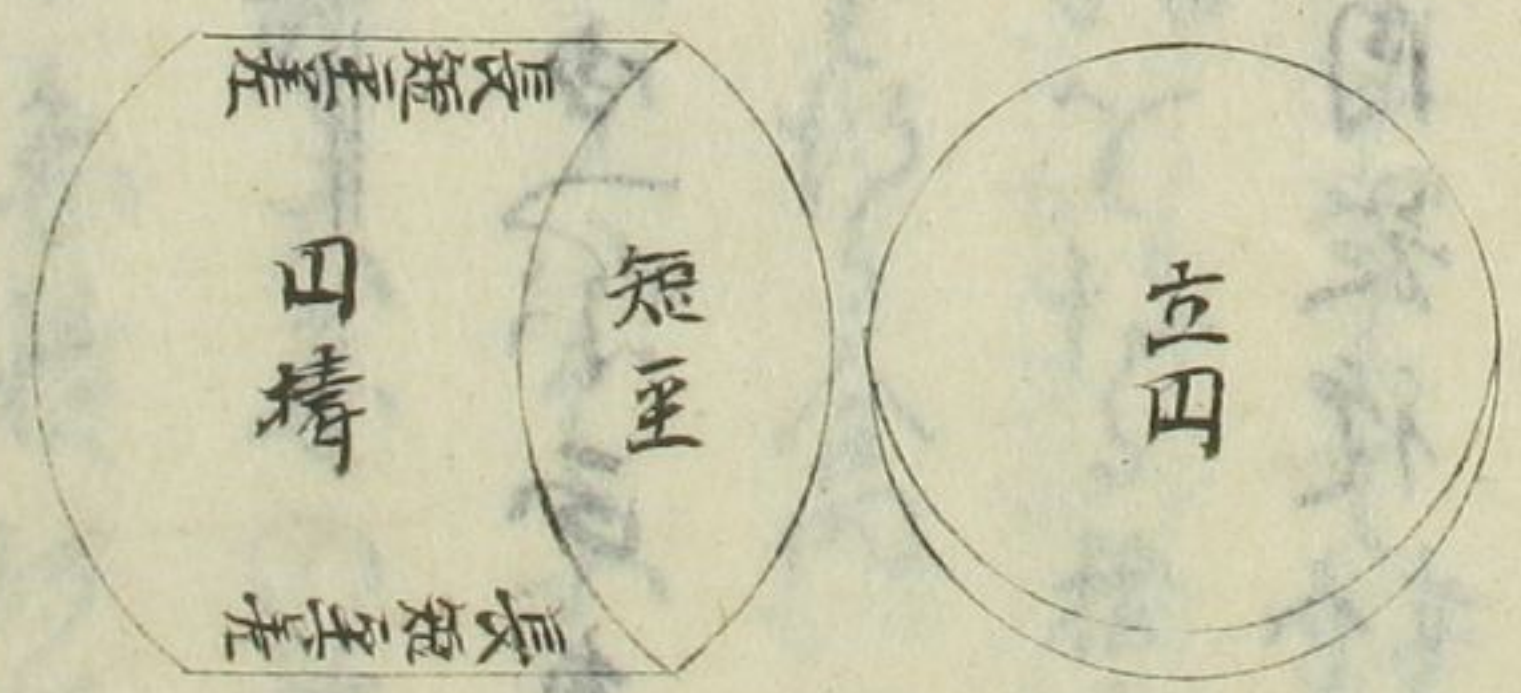
短徑 自乘して平系積法と

系して積面の平系積と得る

平田書法 短徑 系積のちと系して系

積と為 平田書法 長徑 少

後と加して半徑田の積と為



立田書法 短徑 平田書法 長徑 平田書法 短徑 半徑田積

在之系積法と平系積法とと変しと為

立系積法と平系積法は六分の一なり  
平系積法と平系積法は分の一なり

四周法  
短至再

四周法  
長至再

四周法  
短至再

帶堡四責

右通く十二と交して得

四十二周法  
短至再

四十二周法  
長至再

四十二周法  
短至再

帶堡四責

系除同殺のまの相消く得

四周法  
短至再

四周法  
長至再

四周法  
短至再

帶堡四責

①と②と同一名小して正負異形より正負

相減して得

四周法  
短至再

四周法  
短至再

帶堡四責

本術云長短とを二に比檢して得る内旋徑寸と

減して得る寸と得る短徑再入寸と交して寸と

得る又系周法二に比檢して得る寸と得る寸と

除く帶堡系積或百六拾寸五分と得る寸と

今大小の系有其大系周二拾七寸六分八厘小系

周二寸五分八厘大系の積

八厘小系積寸八

小圓

大圓

と向

系云 拾八限

術云大系周二寸五分八厘大四周自系して定法拾二

六六小除く大系積とん 大山周中 十二寸五六 其辰教と系

して大系の想積とん 辰教 大山周中 十二寸五六 実とん 別小

小系周とん 小田周 自系して定法十二寸五六

除く小系積とん 小田周中 十二寸五六 以て実と除く小

系の辰 十二寸五六 辰教 大山周中 系除辰同 辰教 大山周中

殺とん 小田周中 十二寸五六 辰者消 小田周中

本初云大系周 三拾七寸 とん 自系して 子辰 百拾

九寸七寸八 とん 辰教と 七子〇九拾八寸

を式を辰系 とん 別小系周 六寸式分 とん 自系

して 三拾九寸辰分 とん 法とん 以て 実と除て

三寸八寸辰分 とん 合同

今周りに七寸七寸を長す辰の九本百六拾本

わろきと周りに二寸を分けて長式八寸の

九本小初とん 辰教

の 辰教 辰の辰

初周の周とん 初周 自系して定法十二寸

八寸小除く初の本の平面系積とん 初周中 十二寸五六

初の長と系して初の本を本の積とん 初長 初周中 十二寸五六

初の本教と云うして初の本の想積と成るなり

初本教  
初長

實と以別小後の周と並

後周

自

十二寸五六  
初周中

云うして定法十二寸八六小除く後の本

の平面系積と成

後周中  
十二寸五六

後の長廿と云う

て後の本を本の積と成

後長  
後周中  
十二寸五六

法と成

実と除て成る

初本教  
初長

云除教同

初本教  
初長

本教と成

後周中  
後長  
十二寸五六

衣者消

後周中  
後長

本教云初の周

十二寸七寸  
三寸

と並自云うして

或拾寸五寸  
八寸七寸

と成初の長

拾寸

と云うして

八百八拾七寸  
三寸五寸

初の本教

百六  
拾四

と云うして

拾四寸九寸七  
拾八寸五寸

と成実と

以別小後の周

三寸五  
寸

と並く自云うして八寸

六寸九  
寸六系

と成後の長

六寸

と云うして

成法と成以て実と除く成る本教

同

Handwritten text in a cursive script, likely a historical document or manuscript. The text is written in dark ink on aged, yellowish paper. It appears to be a list or a series of entries, possibly related to a collection or inventory. The script is dense and difficult to decipher without specialized knowledge of the language or dialect used.

